

平成28年度 採択課題一覧(弘前大学)

整理番号	研究種目	研究分野	所属機関	所属部局	職名	申請者氏名	受入研究者	研究課題
1	若手	D	核融合科学研究所	ヘリカル研究部	研究員	城間 吉貴 (しろま よしたか)	助教 岩岡 和輝	低バックグラウンド液体シンチレーションカウンターを用いた水中ラドン濃度の精密測定システムの構築
2	若手	E	茨城大学	広域水圏環境科学教育研究センター	特任助教	荻部 甚一 (かへべ じんいち)	助教 田副博文	請戸川流域における福島第一原子力発電所事故に由来する放射性ストロンチウムの空間分布
3	重点	D	日本大学	文理学部	助手	山形 武靖 (やまがた たけやす)	助教 田副博文	トリプル四重極型ICP質量分析計を用いた ¹²⁹ I測定法の開発
4	重点	D	核融合科学研究所	ヘリカル研究部	准教授	赤田 尚史 (あかた なおふみ)	助教 岩岡 和輝	極低濃度トリチウム計測手法を用いたトリチウム計測用バックグラウンド水の検討
5	重点	E	北海道薬科大学	薬学部	講師	中田 章史 (なかた あきふみ)	教授 吉田光明 助教 有吉健太郎 助教 田副博文	高線量汚染地域に生息する野生生物の染色体を指標とした放射線影響評価
6	若手	E	福島県立医科大学	医学部	助手	阿部 悠 (あべ ゆう)	教授 吉田光明	染色体凝縮阻害剤を用いた新規細胞遺伝学的線量評価法の確立および自動解析ソフトによる二動原体染色体解析効率の改善
7	重点	D	海洋研究開発機構	地球環境観測研究開発センター	主任技術研究員	熊本 雄一郎 (くまもと ゆういちろう)	教授 山田正俊	海域モニタリング試料を利用した2011年5月の福島県沿岸域における原発事故由来放射性セシウムの分布再現
8	重点	D	National Institute of Radiological Sciences	Biospheric Assessment for Waste Disposal Team	Principal Researcher	Jian Zheng	教授 山田正俊	Distribution of hard-to-detect Pu and Cs-135 isotopes in early stage monitoring seawaters after the Fukushima nuclear accident
9	重点	D	電力中央研究所	環境科学研究所	特嘱研究員	立田 穰 (たてだ ゆたか)	教授 山田正俊	魚類胃内容物中堆積物の ¹³⁷ Cs/ ²¹⁰ Pb濃度比による陸域起源粒子の推定手法
10	重点	D	福島大学	環境放射能研究所	教授	青山 道夫 (あおやま みちお)	教授 山田正俊	日本沿岸域における東電福島第一原発事故起源放射性セシウムの再循環の研究
11	重点	E	東北大学	加齢医学研究所	助教	鈴木 正敏 (すずき まさとし)	教授 吉田光明 助教 有吉健太郎	福島原発事故に被災した野生ニホンザルの臓器別DNA損傷の定量解析
12	重点	D	金沢大学	環日本海域環境研究センター	准教授	猪俣 弥生 (いのまた やよい)	教授 山田正俊	最適内挿法による北太平洋における放射性セシウムの分布の時空間変動及びその輸送速度の見積もり
13	重点	D	尚絅学院大学	総合人間科学部	准教授	齊藤 敬 (さいとう たかし)	教授 山田正俊	3Dプリンタと3Dスキャナを利用したガンマ線測定用基準線源の開発
14	重点	D	電力中央研究所	環境科学研究所	上席研究員	津旨 大輔 (つむね だいすけ)	教授 山田正俊	福島第一原子力発電所から ⁹⁰ Srの海洋への漏洩率の推定および挙動解析
15	重点	D	北海道科学大学	保健医療学部	教授	真田 哲也 (さなだ てつや)	教授 床次眞司	可搬型液体シンチレーション計数装置を用いたラドン濃度測定法の開発と北海道内の温泉・鉱泉中のラドン濃度と環境動態研究
16	重点	D	東京海洋大学	学術研究院	教授	神田 穰太 (かんだ じょうた)	教授 山田正俊	福島沿岸海域における高線量粒子の海洋生態系影響に関する研究